

全司法労働組合青年協議会発行「時の窓は、青年みんなに配りましょう」



ときのまど

時の窓

No.220



[青年協HP]
※時の窓バック
ナンバー掲載



[Facebook全司
法青年グループ]
※組合員限定

初のオンライン開催 つながり大切に



青年らしい新たなとりくみ

全司法青年協は、8月29日第30回定期総会を初のオンライン形式で開催しました。総会には、代議員・オブザーバー等62名が参加しました。総会議長に山戸優明さん（広島）、副議長に井村志野さん（和歌山）を選出して開会しました。

冒頭、執行部を代表して、米島議長が挨拶を行い、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、初のオンライン開催に踏み切った。単なる感染防止策で終わらせるのではなく、青年らしい新たなとりくみとしてみんなで楽しみ、本総会を成功させよう」と語りました。その上で、「感染症の影響により各地でBCP態勢が取られるなど、職場や生活を巡って様々な変化があり、その中で、職場はどうだったか、青年活動はどうだったかなど、実態を紹介したり、意見を交わしたりしてほしい」と呼びかけました。

～各議案の採決結果～

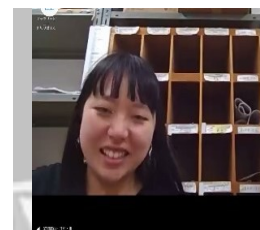
第1号議案（運動方針案）	賛成35	保留0	反対0
第2号議案（一般会計予算案）	賛成35	保留0	反対0
第3号議案（特別会計予算案）	賛成35	保留0	反対0

議案は全会一致で可決
新議長に岡野健太さん（愛知）を選出

総会へは全司法函館支部出身の森慧佑さんが運営委員長を務めている国公青年フォーラムから、また、本総会が30回と節目の総会のため、歴代の青年協議長と全司法本部の中矢正晴委員長から大会メッセージをいただき、連帯と激励の挨拶を受けました。

全体討論では、のべ28本の発言があり、多くの課題にわたる活発な討論が行われました。

また、2020年度運動方針案をはじめとした全ての議案が全会一致で可決されました。新たに、議長には岡野健太さん（愛知）、事務局長には田中佑昌さん（香川）、事務局次長には吉川美穂さん（山口）が選出されました



議長団
山戸議長 井村副議長

～2020年度運動方針案討議～

職場実態など



東京地裁

コロナの影響で狭い評議室が使えない、期日が行えない現状。今後、停滞していたものが一気に始まるため、これから超過勤務が増えないか気になる。

県外からの総研任官者が増えているが、なかなか県外異動が叶わない。2、3年の任期付きの異動サイクルができないか。離島では確立できているため、その要望が高まっている。



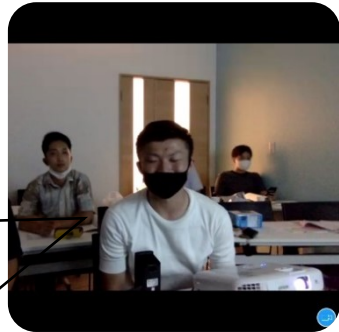
沖縄支部

総研生について、組合に加入していなければ情報弱者となっていた。加入していたことからLINEグループで情報共有できた。組合に加入していることで、情報が早くしれたり、不安や意見を言うことができる。また、総研生同のつながりを感じることができた。



愛知支部

感染防止対策が取れている部署もあるが、一切取られていない部署もあり（職員の机の間仕切やマスク着用など）、部署によってバラツキがある。



香川支部

総研2部生の合格者の定員を増やしてほしい。倍率がかなり高くなっているのではないかと。試験問題の解答について、実践的な具体的な解説や模範答案が欲しい。



札幌支部

組織強化・拡大

新採勧誘について、5月にオンライン飲み会を開催し、その場で新採に感想をきき、新採からは「同期とゆっくり話す機会がなく、疑問や悩みも解決することができてよかった」と好評だった。その後もスムーズに勧誘することができ、加入につながった。



鳥取支部

新採勧誘の際に組合の説明を行った。お菓子を持ち寄り、職場での疑問や関心ごとについても説明した。その場で難しい質問もあったが、すぐ議長に相談し回答することができた。その対応に誠意を感じたようで、即時加入してくれた。



奈良支部

オンライン懇親会 ～大いに盛り上がる～

定期総会後はzoomを活用して、有志でオンライン懇親会を開催しました。企画していたゲームも盛り上がり、集まることができない状況でも青年のつながりを大切にしました。



岡野事務局長の 総括答弁（一部抜粋）

不慣れな場所に異動になったり、在宅勤務等で周りに人がいなかったりと不安を感じる青年が多くいる。そのときに『組合員』であることで、職場の状況を知ることができたり、青年同士の交流のきっかけになったりつながりをさらに深めることができる。全国で活動する皆さんとの『つながり』をさらに大きく広げて、大切にしていき、要求の前進、組織の強化・拡大に向けて、それぞれの持ち場で、力を合わせていくことを確認して総括答弁とします。